

V 2 (1) 市民エンパワーメント研修

教文 識字・日本語ボランティア入門研修

主 題：異文化？良い文化！体験しま専科

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・19	土	日本語学習を通じた多文化共生を考え、外国人市民の日本語学習支援を通し、多文化共生のまちづくりの実践における知識や手法を得る	オリエンテーション 異言語体験学習	職員 助言者 外国人市民3人
2	26	土		外国人市民とまち歩き	神奈川大学 准教授 富谷 玲子 外国人市民3人
3	7・3	土		地域に密着した生活日本語教材をつくる	富谷 玲子
4	7	水		ボランティアの体験談を聞いて、識字学習活動を見学する	職員 識字ボランティア 3人
5	14	水		「平和・人権学習(1) 外国人市民の学習権・言語保障を考える」事業を見学	拓殖大学 日本語教育研究所 講師 大越 貴子
6	21	水		外国人市民がどういう日本語を必要としているのか、実例から学ぶ①②	富谷 玲子
7	28	水			

※6/19(土)、26(土)、7/3(土)は、教文・幸・ふれあい館の合同研修です。

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00～12:00・18:45～20:45

●対象 関心のある方

●参加者数 23人(男9人、女14人)

●延べ人数 117人

教文 識字・日本語ボランティア研修(ブラッシュアップ) 2

主 題：識字・日本語ボランティア入門からステップアップ!

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1 ┌ 5	10・27 └ 12・1	水	日本語学習支援における専門知識を習得し、学習支援の実践の場を設け、自身の持つ課題を見つけ出す	日本語レベルがビギナーまた中上級の外国人市民に対する支援の方法について、どのような特徴があるのかを学ぶ	神奈川大学大学院 国語学研究科 門馬 真帆 飛鳥学院 非常勤講師 小田 ひとは
6 ┌ 10	12・8 └ 1・26	水	定住外国人との共生について、どういった支援ができるのか考える	学習者の生活課題や、漢字圏、非漢字圏の違いによる支援の必要度や困難性について学び、これからの支援活動に生かす	門馬 真帆 小田 ひとは 東京外国語大学 多言語多文化教育研究センターフェロー 上杉 祐子

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 主に19:00～21:00

●対象 識字ボランティア入門研修受講生及び識字ボランティア

●参加者数 7人(男3人、女4人)

●延べ人数 62人

大師 高齢者を孤立させない地域づくりとは

主 題：～「自分らしく、このまま老いたい」～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・ 3	金		オリエンテーション 自己紹介	多摩市民館 社会教育振興係 課長補佐 中村 高明
2	11	土	福祉の現状を知り、自分らしく自宅で老いていくために、同じ地域で住む者同士がどのように支え合えばいいのか。国内外の事例を参考に必要なこと、地域の中でできることを考え、今後の活動につなげる	老いのカタチ ～地域(日本)での理想の姿～	老人介護施設職員 赤川 悟
3	18	土		老いのカタチ～海外(スウェーデン)で継承される「オムソーリ」という言葉～	ホスピタリティ☆プラネット 主宰 藤原 瑠美
4	1・ 8	土		人生の最後をどう仕上げるか 市民一人ひとりがかかわること	
5	15	土		健やかに生き、自分らしく逝くことへの備え ～備えあれば憂いなし～	社会福祉法人 セイワ 介護老人福祉施設桜寿園 副施設長 仁科 淳子
6	22	土		これからできること 振り返り、情報交換	職員

●開設場所 大師分館

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 32人(男3人、女29人)

●延べ人数 105人

田島 多文化共生ボランティア講座

主 題：いろいろな国の文化・歴史を知ろう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・ 21	金		田島地区の歴史を学ぶ オリエンテーション	青丘社 理事長 斐 重度
2	28	金	同じまちに暮らしながら、住みにくさを感じている外国人市民の現状を知るとともに、地域について学び自分に何ができるかを考える。また田島地区での多文化共生社会へ実現への活動につなげる	在日外国人高齢者の活動	元日本語学校教員 鈴木 宏子 トラヂの会会員
3	2・ 4	金		在日外国人の現状と課題	川崎区コミュニケーション ボランティア
4	18	金		韓国料理を作ってみよう	金 恵珍
5	26	土		世界の音楽を知ろう	斐 秉胃 木本 誠二 阿波連 とも子
6	3・ 9	水		識字学級見学	職員

●開設場所 田島分館

●時 間 帯 10:00～12:00 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 13人(男5人、女8人)

●延べ人数 31人

幸 ‘家族で’ から ‘地域で’ 一皆で見守る・ともに支えるー

主 題：地域で行う在宅ケアについて

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・10	金	在宅ケアを行なっている人々やその家族の心理的・精神的な負担などの問題を、地域住民皆の問題としてとらえ、彼らの痛みや悩みを共有し緩和する「心のケア」について学ぶ	オリエンテーション 川崎市で行なわれている「ケア」	かわさき総合ケアセンター スタッフ
2	24	金		“心のケア”の基本理念 ～「臨床パストラル」を題材に～	NPO 法人 臨床パストラル 教育研究センター 理事長 ワルデマール・キッペス
3	1・7	金		必要性・効果・課題① ～医療の現場から～	新座志木中央総合病院 緩和 ケア科部長 金井 良晃
4	21	金		必要性・効果・課題② ～カウンセラーの現場から～	臨床パストラルケアカウンセ ラー看護師 大島 とし江
5	2・4	金		地域の現状	生活リハビリクラブ・戸手 介護支援専門員 丸山 美保子

●開設場所 幸市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 7人(男0人、女7人)

●延べ人数 31人

日吉 多文化共生社会と「生活者としての外国人」支援

主 題：外国人の市民生活を支え、ふれあいを深めるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・6	土	地域の国際化について川崎の歴史的経過や現状を知り、外国人とのコミュニケーションの深め方や在住外国人の相談内容・アドバイスの方法、外国人生徒への学習支援方法等を学び、多文化共生推進に向けた市民の実践的活動のあり方を考える	グローバル化する社会と地域～人の移動とグローバル化 川崎の過去と現在～	桜美林大学 准教授 牧田 東一
2	20	土		外国人とのコミュニケーションを深める～やさしい日本語を使ったコミュニケーション活用の提案～	国立国語研究所 名誉所員 米田 正人
3	12・4	土		外国人が困っていること、知りたいこと、わからないこと	(財)川崎市国際交流協会 神戸 洋子
4	18	土		外国人児童生徒への学習支援	総合教育センター 指導主事 佐藤 公孝
5	1・15	土		多文化共生社会の市民づくり	NPO 法人 多文化共生セン ター東京 青木 智弘
6	22	土		地域で共に支えあう	(財)かわさき市民活動セン ター 理事長 小倉 敬子

●開設場所 日吉分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 10人(男1人、女9人)

●延べ人数 49人

中原 学習相談ボランティア養成講座

主 題：市民の生涯学習をあなたがサポート！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・12	水	市民が自らの経験や知識を生かして参画し、行政との協働により生涯学習相談を実施することで、中原区における生涯学習の活性化、地域の市民の生きがいづくりを促進する	学習相談ボランティアの可能性 ～市民の生涯学習を支援するために	文教大学 教授 平沢 茂
2	19	水		学習相談の実際 ～生涯学習情報の収集から提供まで	横浜市港北区役所 地域振興課 倉見 志津江
3	26	水		カウンセリングに学ぶ生きがい探し	シニア産業カウンセラー 伊藤 雅彦
4	2・2	水		生涯学習から広がる市民活動・ボランティア活動	(財)かわさき市民活動セン ター 仲村 美津子
5	16	水		学習相談ボランティアとして自分にできることは？	学習相談ボランティア 安達 秀子 笠原 達子

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 25人(男5人、女20人)

●延べ人数 96人

高津 保育ボランティアスキルアップ研修

主 題：地域での子育て環境の醸成のために保育ボランティアの資質向上

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・18	木	子どもへの理解	プレーパークに来る様々な子どもの様子を知ること で活動する際の子どもへの対応の幅をひろげる	世田谷プレーパーク協会 理事 天野 秀明
2	25	木		「子どもの権利」について学び、より広い視点で 活動に参加するようになる	早稲田大学 総合研究機構 研究員 安部 芳絵
3	12・2	木	安全な保育活動を行 うために	危機管理に対する意識づけや実践方法を学び安 全な活動について保育ボランティア同士の共通理 解を図り保育環境を整える	NPO 法人 フローレンス 病児保育事業部 森永 紗希子
4	9	木	地域が子育て支援に かかわる意義を理解 する	子どもを取り巻く環境の変化や地域で子育て支 援をすることの意義を聞き活動の継続性の大切 さを学ぶ	共育ひろば 主宰 牧岡 英夫
5	16	木	活動者同士の仲間づ くり	子育て支援に必要な視点を考える 今までの講座を振り返り、活動者同士を尊重して 子育て支援にかかわることができるようになる	安部 芳絵

●開設場所 高津市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 保育ボランティア活動者

●参加者数 33人(男0人、女33人)

●延べ人数 83人

高津 子育て支援活動をもっと活発にする講座！

主 題：多様化する子育て支援のニーズに対応するため資質向上を図る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・20	木	活動を客観的に伝える	自分たちの活動内容を受講者同士で伝えあうこ とで、活動の意義や使命を確認する	NPO 法人 ハンズオン!埼玉 副代表理事 吉田 理映子
2	27	木	団体の組織力をつける	子育て支援施策に関するデータを読むことで子ど もを取り巻く環境を学ぶ 団体の組織力を高めるためにメンバーの主体性 を引き出す方法を学ぶ	大正大学 客員教授 子育て環境研究所 代表 杉山 千佳
3	2・3	木	活動者同士が共感し て協力し合う方法を 体験する	受講者同士が安心してつながれる場を体験する ことで、がんばりすぎず仲間と協力して活動がで きるようになる SST を体験する	NPO 法人 クッキングハウ ス会 代表 精神保健福祉士 松浦 幸子
4	10	木	子育て支援活動の対 象者(母・こども)にとっ ての活動の意義を考 える	受益者(利用者)の立場になるグループワークを 体験する 他団体の活動を理解する	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
5	17	木	今後の活動を広げる	まとめ・活動の現状を発表することでさらに活動 がステップアップするためのポイントを見つける	早稲田大学 総合研究機構 研究員 安部 芳絵

●開設場所 高津市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 子育て支援者、関心のある方

●参加者数 20人(男0人、女20人)

●延べ人数 54人

●保育内容 1歳～3歳まで

●保育参加者数 2人(男1人、女1人)

●保 育 者 登録ボランティア

橘 橘の地域情報紙（コミュニティペーパー）を作ってみよう

主 題：わたしたちの地域でつながる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・18	金	市民が発信する地域情報紙の意味を学び、橘地域の地域課題を捉え、課題解決に役立つ地域情報紙を作成する また、学習の中での共同作業を通し、参加者同士の交流と参加者を含め、地域でのネットワークづくりを推進することを目的とする	オリエンテーション・自己紹介 市民発の地域情報紙の意味	わいず工房代表 庄司 佳子
2	25	金		地域の中でどんなことに興味がありますか	(財)かわさき市民活動センター 仲村 美津子
3	3・11	金		原稿の書き方と取材方法	東橘中学校 教頭 大内 孝二
4	18	金		原稿をまとめ、紙面構成について学ぶ	
5	25	金		情報紙の作成を通して気づいた事や疑問点を話し合う	庄司 佳子

●開設場所 橘分館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 17人(男8人、女9人)

●延べ人数 65人

宮前 中学生・高校生ボランティア講座「体験しよう」

主 題：中高生の社会参加活動のきっかけとなる機会を提供する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・28	水	ボランティア活動に関する理解を深める	オリエンテーション ボランティアについて	(財)かわさき市民活動センター 市民活動推進課 渋谷 祐太 職員
2	28	水		普通救命講習(市民救命士取得)	宮前消防署 救急係長 狩野 照美
3	29	木		高齢者疑似体験 認知症疑似体験	公益社団法人 長寿社会文化協会 インストラクター4名
4	30	金		社会とつながるということについて ～ツールとしてのコスプレ～	NPO法人 コス援護会 理事長 園田 明日香
5	30	金		平成20年度受講生の活動について 振り返り	助言者 文化魂メンバー2名 職員

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 ①④ 9:30～12:00 ②③⑤ 13:00～16:00

●対 象 市内在住・在学の中高生 20名

●参加者数 15人(男5人、女10人) ●延べ人数 53人

宮前 宮前観光ガイドボランティア養成講座

主 題：宮前区の魅力を発信するために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・13	水	観光ガイドの基礎知識	ガイドをする上での準備と現地でのチェックポイント	元 JTB ツアーコンダクター 研修講師 村瀬 美奈
2	20	水		宮前区と周辺の魅力を知ろう「歴史」	郷土史家 中平 龍二郎
3	27	水		宮前区と周辺の魅力を知ろう「自然」「施設」	平瀬川流域まちづくり協議会 事務局長 松井 隆一
4	11・10	水		救急救命法	宮前消防署員
5	17	水		既存のコースを利用してガイドコースを考える	職員
6	24	水	得意のコースを作ってみよう		
7	12・1	水	実際に案内してみよう①②		
8	8	水	まとめ		
9	15	水	これからの活動に向けて		

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 16人(男4人、女12人)

●延べ人数 128人

菅生 めざせ!地域人 話し合い力をつけよう

主 題：「良い話し合い」とはどんな話し合いなのか探り実現するために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・9	水	良い話し合いとは何か考えてみよう	話し合いで困っていることを出し合う	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	16	水	困った状況になっているのは何が原因なのか	人と人がかかわる中に、話し合いがうまくいきにくい原因があることを確認する	
3	23	水	現場で試みた結果を検証してみよう	実際の話し合いの機会がある方に試行してもらい、その結果の報告から検証する	
4	30	水	模擬話し合いをやってみよう	「良い話し合い」をめざして、模擬話し合いをする	
5	7・7	水	今、なぜ話し合いが大切なのか考えてみよう	決めるための話し合いだけでなく理解しあい、話し合いの意義を再確認する	
6	21	水	振り返って	今までの学習をより深め、これからの話し合いの場で実践するために何が必要か	

●開設場所 菅生分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方 20人

●参加者数 18人(男6人、女12人)

●延べ人数 69人

多摩 子育て応援しませんか?

主 題：保育ボランティア研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	金	市民館保育について理解する	オリエンテーション 保育で育つ子どもたち	多摩保育グループ
2	21	金		よその子どもとの付き合い方	自主保育グループぐりじゃん
3	28	金	0～3歳くらいの子どもとその親との接し方を学ぶ	子どもと遊ぼう!	幼児グループ「ふあんふあん」
4	2・8	火		今どきのママたちと話してみよう	子育て中のママとお子さん
5	18	金	ボランティアとはなにか	ボランティア活動をするにあたって	(財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
	25	金		保育ボランティアとして活動していくために	職員

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 4人(男0人、女4人)

●延べ人数 24人

多摩 花あふれる多摩区を

主 題：コミュニティーガーデンボランティア育成

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・27	木	コミュニティーガーデンとは①	コミュニティーガーデンについて学ぶ①	アトリエ土里夢 代表 越川 秀治
2	2・3	木	園芸福祉とは	園芸福祉について学ぶ	樹木医 石井 誠治
3	10	木	コミュニティーガーデンとは②	コミュニティーガーデンについて学ぶ②	越川 秀治
4	17	木	園芸について①	園芸の基礎を学ぶ	園芸家 深町 貴子
5	24	木	園芸療法について	園芸療法について学ぶ	
6	3・10	木	園芸について②	園芸の基礎を生かしての実習 地域の緑について	

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 30人(男3人、女27人)

●延べ人数 138人

麻生 あさおからはじまる国際化社会

主 題：外国人市民と協働して“多文化共生のまち”麻生を創ろう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・27	水	外国人市民と協働して “多文化共生のまち” 麻生を創るための第1 歩を麻生市民館で踏 み出す。 麻生のまちに小さな “国際化社会”を実 現するために必要な ことを学ぶ。 実際の活動に向けて 新しい仲間をつくる	オリエンテーション 社会的活動としてのボランティア活動	東京外国語大学 多言語・ 多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
2	11・3	水		外国人市民と日本社会のかかわりについて、歴史的社会的視点で考察する	元龍谷大学 教授 田中 宏
3	10	水		麻生区在住外国人市民の声を聴く	外国人市民
4	24	水		市民が国際交流サークルを立ち上げて、運営する実際のお話を聴く	国際子育てサークルファン キーキッズ&ファンキーマム
5	12・1	水		これから麻生区に必要だと思う活動について考える	吉田 聖子
6	8	水		実際の“多文化共生”ボランティア活動計画を組み立てる	
7	15	水		計画を実現させるためのノウハウを学ぶ 計画の実現性・有効性と課題	
8	22	水		実際の活動に向けて1歩踏み出すための準備	

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 24人(男6人、女18人)

●延べ人数 124人

V 2 (2) PTA 活動研修

川崎区 PTA 活動研修

主題	PTA の委員会の役割を考える		会場	教育文化会館
部会	成人委員会		参加者数	① 40 人 ② 60 人 ③ 39 人
日時	① 5月7日(金) ② 5月14日(金) ③ 2月22日(火)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① PTA 等家庭教育学級の企画と運営(説明会) ② PTA 会員に様々な情報をどのような形で提供できるかを学ぶ ③ PTA 等家庭教育学級報告会			
講師	①③(有) コミュニティ サポートネット 斎藤 千恵 ②職員			
部会	広報委員会		参加者数	① 57 人 ② 55 人
日時	① 5月18日(火) ② 5月28日(金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① PTA 広報紙の役割 ② PTA 広報紙の作成			
講師	①②日本機関紙協会事務局長 長谷川 径弘			
部会	校外委員会		参加者数	56 人
日時	6月10日(木)	10:00 ~ 12:00		
内容	子どもの安全に関わることを学校から配信することについて(事例発表)			
講師	川中島小学校 校長 榊原 誠			
部会	役員会		参加者数	52 人
日時	6月11日(金)	10:00 ~ 12:00		
内容	PTA 役員の活動と役割について考える			
講師	松戸市 PTA 問題研究会 代表 浅井 ゆき			
部会	全体会		参加者数	234 人
日時	7月3日(土)	14:00 ~ 15:30		
内容	家庭の中の食育・学校の中の食育			
講師	大島小学校 校長 庄司 順子			

幸区 PTA 活動研修

主題	より充実した PTA 活動をめざして		会場	幸市民館
部会	学年学級委員会		参加者数	① 44 人 ② 30 人
日時	① 5 月 11 日 (火) ② 11 月 2 日 (火)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① 学年・学級委員の活動の進めかた ② 活動の課題 情報交換			
講師	① 元社会教育指導員 三星 とく子 ② 社会教育主事 小柳 俊子			
部会	成人委員会		参加者数	① 35 人 ② 30 人 ③ 34 人
日時	① 5 月 21 日 (金) ② 11 月 19 日 (金) ③ 2 月 25 日 (金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① 成人委員会活動の進め方 ② 活動の課題 情報交換 ③ 1 年間の活動報告			
講師	① (財)かわさき市民活動センター 仲村 美津子 ② 社会教育主事 西山 和美 ③ (有)コミュニティ サポート ネット 斎藤 千恵			
部会	広報委員会		参加者数	① 38 人 ② 34 人 ③ 41 人
日時	① 6 月 4 日 (金) ② 6 月 11 日 (金) ③ 11 月 12 日 (金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① 初めての広報活動 (初級編) ② ステップアップ編 (中級編 編集 レイアウト実習) ③ 情報交換 各校の広報をしてみる			
講師	①② マイタウン 21 編集長 岩倉 宏司 ③ 幸市民館 館長 豊岡 裕一郎			
部会	校外委員会		参加者数	① 49 人 ② 48 人
日時	① 5 月 25 日 (火) ② 6 月 25 日 (金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① こども 110 番の活動から ② 校外委員の活動の進め方			
講師	① 市民・こども局青少年課 ② (有)コミュニティ サポート ネット 斎藤 千恵			
部会	三役部会		参加者数	① 36 人 ② 31 人
日時	① 6 月 18 日 (金) ② 10 月 26 日 (火)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① 三役部会活動の進め方 前年度の課題から ② 現状報告と情報交換			
講師	①② 元社会教育指導員 三星 とく子			

中原区 PTA 活動研修

主題	よりよい PTA 活動のために		会場	中原市民館
部会	学年学級部会 (小・聾学校)		参加者数	① 33 人 ② 30 人 ③ 33 人
日時	① 5月20日(木) ② 9月24日(金) ③ 2月17日(木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① これからの活動のために ② 活動のポイントと情報交換 ③ 活動をふりかえって			
講師	①②③ 全国 PTA 問題研究会 竹内 啓子			
部会	学年学級部会 (中学校)		参加者数	① 16 人 ② 13 人 ③ 14 人
日時	① 5月20日(木) ② 9月24日(金) ③ 2月17日(木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① これからの活動のために ② 活動のポイントと情報交換 ③ 活動をふりかえって			
講師	① 全国 PTA 問題研究会 竹内 啓子 ②③ 宮前市民館 社会教育主事 中村 康人			
部会	校外部会 (小・中・聾学校)		参加者数	① 52 人 ② 54 人
日時	① 5月20日(木) ② 10月22日(金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① これからの活動のために ② 活動のポイントと情報交換			
講師	① (財) かわさき市民活動センター 仲村 美津子 ② 中原警察署スクールサポーター 小川 照夫			
部会	広報部会 (小・中・聾学校)		参加者数	① 58 人 ② 51 人 ③ 54 人
日時	① 4月28日(水) ② 5月20日(木) ③ 10月21日(木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① 活動の基礎知識・広報紙づくり (1) ② 広報紙づくり (2) ③ 作ってみての感想・情報交換			
講師	①②③ 日本機関紙協会 長谷川 径弘			
部会	成人部会 (小・聾学校)		参加者数	① 33 人 ② 23 人 ③ 30 人 ④ 33 人
日時	① 4月28日(水) ② 5月20日(木) ③ 9月24日(金) ④ 2月17日(木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① PTA 家庭教育学級説明会 ② PTA 家庭教育学級相談会 ③ 情報交換と実際に活動してみ ④ 活動をふりかえって			
講師	①③④ 中原市民館 社会教育主事 吉田 恵子 ② 職員			
部会	成人部会 (中学校)		参加者数	17 人
日時	4月28日(水)	10:00 ~ 12:00		
内容	これからの活動のために			
講師	(財) かわさき市民活動センター 仲村 美津子			
部会	役員研修 (副会長研修)		参加者数	56 人
日時	6月25日(金)	10:00 ~ 12:00		
内容	よりよい PTA 活動のために			
講師	国際理解教育センター 角田 尚子			

高津区 PTA 活動研修

主題	PTA 活動の充実と活性化のために		会場	高津市民館
部会	校外委員会		参加者数	45 人
日時	5 月 13 日 (木)	10:00 ~ 12:00		
内容	校外委員会の目的と活動～地域の安全を守るために～			
講師	社会教育主事 豊田 一郎			
部会	成人委員会		参加者数	① 40 人 ② 41 人
日時	① 5 月 20 日 (木) ② 9 月 9 日 (木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	①成人教育の目的と活動～学級の進め方～ ②各校募集チラシを持ち寄って			
講師	①② (有)コミュニティサポートネット 斎藤 千恵			
部会	広報委員会		参加者数	① 45 人 ② 39 人
日時	① 5 月 27 日 (木) ② 9 月 16 日 (木)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	①広報紙の編集の仕方～よりよい広報紙づくりのために～ ②各校広報紙を持ち寄って			
講師	①②社会教育主事 小柳 俊子			
部会	役員部会		参加者数	36 人
日時	6 月 3 日 (木)	10:00 ~ 12:00		
内容	PTA 活性化のための役員の仕事について考える			
講師	元練馬区中学校 PTA 連合協議会副会長 浅原 修一			
部会	学年学級委員会 (中学校部会)		参加者数	13 人
日時	6 月 9 日 (水)	10:00 ~ 12:00		
内容	効果的な話し合いと情報交換で活動を活性化する			
講師	社会教育主事 中村 高明			
部会	学年学級委員会 (小学校部会)		参加者数	28 人
日時	6 月 17 日 (木)	10:00 ~ 12:00		
内容	効果的な話し合いと情報交換で活動を活性化する			
講師	元社会教育指導員 元中原区 PTA 協議会会計 三星 とく子			
部会	テーマ別研修		参加者数	① 47 人 ② 49 人 ③ 42 人
日時	① 6 月 24 日 (木) ② 7 月 24 日 (土) ③ 12 月 4 日 (土)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	①新しい「学習指導要領」について ②不登校・ひきこもりの子どもたちへの理解と支援 ③ワークライフバランス			
講師	①総合教育センターカリキュラムセンター室長 佐藤 裕之 ②NPO 法人 遊悠楽舎代表 明石 紀久男 ③川崎市男女共同参画センター 野村 幸平			

宮前区 PTA 活動研修

主題	地域に生きる PTA 活動とは? 成り立ちと実際を知ろう!		会場	宮前市民館
部会	学年学級委員会		参加者数	① 39 人 ② 28 人 ③ 40 人 ④ 23 人
日時	① 5 月 13 日 (木) ② 6 月 1 日 (火) ③ 9 月 28 日 (火) ④ 9 月 30 日 (木)	全て 10 : 00 ~ 12 : 00		
内容	① 学年学級委員会の学校や地域での活動と役割～情報交換 (小学校) ② 学年学級委員会の学校や地域での活動と役割～情報交換 (中学校) ③ 前半の活動を振り返って、他校との情報交換 (小学校) ④ 前半の活動を振り返って、他校との情報交換 (中学校)			
講師	①③ 社会教育主事 小柳 俊子 ②④ 宮前区教育担当 担当課長 安部 賢一			
部会	成人委員会		参加者数	① 41 人 ② 15 人 ③ 39 人 ④ 12 人
日時	① 5 月 18 日 (火) ② 6 月 15 日 (火) ③ 9 月 7 日 (火) ④ 9 月 16 日 (木)	全て 10 : 00 ~ 12 : 00		
内容	① 成人委員会の学校や地域での活動と役割～情報交換を通して考える (小学校) ② 成人委員会の学校や地域での活動と役割～情報交換を通して考える (中学校) ③ 前半の活動を振り返って、他校との情報交換 (小学校) ④ 前半の活動を振り返って、他校との情報交換 (中学校)			
講師	①③ 社会教育主事 中村 康人 ② 社会教育主事 中村 高明 ④ 社会教育主事 西山 和美			
部会	校外委員会		参加者数	① 41 人 ② 16 人 ③ 56 人
日時	① 5 月 20 日 (木) ② 5 月 27 日 (木) ③ 9 月 14 日 (火)	全て 10 : 00 ~ 12 : 00		
内容	① 安全・安心のまちづくり (小学校) ② 安全・安心のまちづくり (中学校) ③ 前半の活動を振り返って、他校との情報交換			
講師	① 暮らし安全指導員 神鳥 博之 社会教育主事 中村 康人 ② NPO 情報セキュリティフォーラム 広瀬 由美 社会教育主事 中村 康人 ③ 社会教育主事 中村 康人			
部会	広報委員会		参加者数	① 57 人 ② 58 人 ③ 60 人
日時	① 5 月 25 日 (火) ② 6 月 3 日 (木) ③ 9 月 9 日 (木)	全て 10 : 00 ~ 12 : 00		
内容	① PTA 広報紙でとりあげるべき課題とは何かと、魅力ある紙面の作り方について ② 基本から学ぼう・実際の PTA 広報紙を題材に解説 ③ 知っておきたい広報紙作成のポイントと情報交換			
講師	①②③ 日本機関紙協会 長谷川 径弘			
部会	役員部会		参加者数	28 人
日時	6 月 8 日 (火)	10 : 00 ~ 12 : 00		
内容	青少年に向き合うことについて・情報交換を通じて、家庭と学校と PTA が子どものためにできることは?			
講師	全国 PTA 問題研究会事務局 味岡 尚子			

多摩区 PTA 活動研修

主題	充実した PTA 活動をめざして		会場	多摩市民館
部会	広報委員会		参加者数	① 18 人 ② 18 人 ③ 38 人 ④ 37 人
日時	① 5 月 11 日 (火) ② 5 月 11 日 (火) ③ 5 月 12 日 (水) ④ 5 月 13 日 (木)	① 10 : 00 ~ 12 : 00 ② 13 : 00 ~ 15 : 00 ③④ 9 : 30 ~ 11 : 30		
内容	①中学校 広報委員の役割と活動について 広報紙を作ろう (1) ②中学校 広報紙を作ろう! (2) ③小学校 広報委員の役割と活動について 広報紙を作ろう (1) ④小学校 広報紙を作ろう! (2)			
講師	マイタウン 21 編集長 岩倉 宏司			
部会	成人委員会		参加者数	① 75 人 ② 30 人
日時	① 5 月 20 日 (木) ② 5 月 21 日 (金)	全て 9 : 30 ~ 11 : 30		
内容	成人委員の役割と活動について			
講師	職員 多摩区 PTA 協議会成人委員			
部会	学年学級委員会		参加者数	52 人
日時	5 月 27 日 (木)	9 : 30 ~ 11 : 30		
内容	上手な話し合いの進め方を学ぼう			
講師	社会教育主事 中村 高明			
部会	校外委員会		参加者数	52 人
日時	5 月 28 日 (金)	9 : 30 ~ 11 : 30		
内容	校外委員の役割と活動について			
講師	職員			

麻生区 PTA 活動研修

主題	PTA 活動の更なる活性化を共に考えあう		会場	麻生市民館
部会	広報委員会		参加者数	76 人
日時	6 月 3 日 (木)	10:00 ~ 12:00		
内容	広報の目的と役割、紙面作りについて			
講師	朝日新聞社・横浜総局 記者 佐藤 太郎			
部会	成人委員会		参加者数	① 70 人 ② 60 人
日時	① 5 月 7 日 (金) ② 6 月 4 日 (金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	①家庭教育学級説明会 PTA 家庭教育学級の意義とその役割について ②成人委員会の目的と役割 PTA とはなんだろう、情報交換、話し合い			
講師	①職員 ②元社会教育指導員 鈴木 のり子			
部会	校外委員会		参加者数	63 人
日時	6 月 10 日 (木)	10:00 ~ 12:00		
内容	校外委員会の目的と学校や地域での役割を考える			
講師	全国 PTA 問題研究会 竹内 啓子			
部会	学年委員会		参加者数	① 24 人 ② 53 人
日時	① 6 月 9 日 (水) ② 6 月 11 日 (金)	全て 10:00 ~ 12:00		
内容	① PTA 活動とは、学級集会・学年集会の運営について ②学年委員会の目的と役割、活動の進め方と課題			
講師	①麻生区 PTA 協議会副会長 三上 由加利 麻生区 PTA 協議会書記 古川 雅子 ②元社会教育指導員 鈴木 のり子			

V 2 (3) 生涯学習交流集会

川崎区生涯学習交流集会

日 時	2月12日(土)	10:30～12:30	会場	教育文化会館	参加者	34人
テーマ	「市民協働」「市民自主」と生涯学習					
内 容	①基調講演「市民活動と市民協働型事業がめざすもの」～市民が作る学びとは (講師:日本女子大学 教授 田中 雅文) ②平成22年度市民自主学級・市民自主企画事業の各実施団体による報告 ③講師の講評及び意見交換					

幸区生涯学習交流集会

日 時	1月29日(土)	9:30～12:30	会場	幸市民館	参加者	32人
テーマ	さいわい学びの輪					
内 容	①平成22年度市民自主学級・市民自主企画事業の事例報告 ②ワークショップでつなげよう「学びの輪」・講評 早稲田大学 講師 片岡 了 ③平成23年度市民自主学級・市民自主企画事業の説明会					

中原区生涯学習交流集会

日 時	3月5日(土)	10:00～17:00	会場	中原市民館	参加者	約1,500人
テーマ	メイドイン中原					
内 容	中原市民館を中心に活動している団体・サークルによる活動報告・舞台発表・ワークショップ ○平成22年度市民自主学級・自主企画事業報告会(13団体) 講演「市民が自ら創る学びの場とは」 講評 (財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子 参加者 21人 ○ホールイベント「なかはらアクトストリート2011～いってみよう やってみよう あなたも1日パフォーマー」 ○ワークショップ 「手作りがらくた楽器」「お絵かきワークショップ」「動物折り紙マラソン」 参加者 約1,500人 企画・運営 NAS2011 実行委員会 ○サークル等パネル展示					

高津区生涯学習交流集会

日時	1月23日(日)	13:00～15:30	会場	高津市民館	参加者	54人
テーマ	市民自主学級・市民自主企画事業報告会・説明会					
内容	平成22年度の学級・事業報告を通して、地域の課題解決に向けた取組みについて企画グループとの意見交換し、また平成22年度の企画提案に向けた説明会を実施し、事業の趣旨の理解と周知を図り、市民と行政と協働による企画・運営の在り方を共有する機会とする					
日時	1月26日(水) ～2月7日(月)	8:30～21:00	会場	高津市民館	参加者	10団体
テーマ	グループ活動紹介展(ポスター展)					
内容	市民館で活動する団体の活動紹介や市民自主学級等の事業報告を展示し、市民の生涯学習活動の一助とする					
日時	1月29日(土)	10:30～12:00	会場	高津市民館	参加者	48団体
テーマ	グループ室連絡会					
内容	グループ室利用グループ間の情報交換・交流促進、市民の生涯学習活動の活性化					
日時	2月19日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	会場	高津市民館	参加者	9人
テーマ	市民自主学級・市民自主企画事業企画提案会					
内容	平成23年度の市民自主学級・市民自主企画事業の企画提案を通して、地域課題の共有と団体・グループ間の交流・情報交換を行う					
日時	3月1日(火)	13:30～16:30	会場	高津市民館	参加者	14団体
テーマ	料理室柵利用希望団体交流会・抽選会					
内容	次年度の料理室柵利用にあたり、希望団体・グループの決定及び交流の場とする					
日時	3月4日(金)	10:00～12:00	会場	高津市民館	参加者	28人
テーマ	PTA等家庭教育学級報告会					
内容	PTA等で実施した家庭教育学級の成果・課題等を報告し、PTAでの家庭教育の重要性を確認し、推進を図ると共に次年度に向けた情報の提供・共有の機会とする					
日時	3月15日(火)	10:00～12:00	会場	高津市民館	参加者	93団体
テーマ	グループロッカー室・実習室柵利用希望団体交流会・抽選会					
内容	次年度のロッカー室等利用にあたって、希望団体・グループの決定及び利用団体・グループ同士の交流の場とする *震災のため延期(4月4日開催)					

宮前区生涯学習交流集会

日時	2月19日(土)	10:30～12:00	会場	宮前市民館	参加者	700人
テーマ	大人の文化祭 in みやまえ					
内容	午前の部 特別講演『豊かな生、豊かな死のために～「物語を生きる人間」の視点～』 講師 柳田 邦男 午後の部 ポスターセッション 区内で活動しているグループ28団体のポスター展示と活動案内 一日体験教室5団体					
日時	3月19日(土)	10:30～12:30 13:00～15:00	会場	宮前市民館	参加者	146人
テーマ	子どもと楽しむミニ劇場					
内容	人形劇を使ったワークショップ ①ミニ劇場「小さな山神 スズナ姫」出演：人形劇ひとみ座 鑑賞後、宮前市民館家庭・地域教育学級修了者と地域の親子による交流・情報交換を行なう 来場者 午前の部82人、午後の部66人					

多摩区生涯学習交流集会 たま学びのフェア 2011

日 時	3月12日(土)・13(日)	10:00～16:00	会場	多摩市民館	
テーマ	出合い・ふれあい・学び合い				
内 容	<p>市民館利用団体を中心に多摩区内の生涯学習関連団体が参加し、団体相互の交流を深めるとともに、何か始めたいを思っている市民向けに体験プログラムを提供し生涯学習のきっかけ作りへと結びつけている また、市民自主企画事業「生涯学習ライフ見本市」による生涯学習情報の提供や講演会を実施している。 個人参加のギャラリー部門「ギャラリーたまゆら」も開催し、60点以上の作品を展示している 実施団体：たま学びのフェア実行委員会 参加団体：33団体、11機関</p> <p style="text-align: right;">*震災のため中止</p>				

麻生区生涯学習交流集会

日 時	1月22日(土)	13:30～16:00	会場	麻生市民館	参加者	200人
テーマ	麻生市民館で日頃の活動や成果を展示・舞台上で発表する					
内 容	<p>「新春わいわいフェスティバル」 ①パフォーマンス ダンス(5団体)、朗読(1団体)、音楽(3団体) ②パネル展示 市民の自主グループ(1団体)、平成22年度麻生市民館市民自主学級、市民自主企画事業、麻生図書館、黒川野外活動センター</p>					
日 時	2月12日(土)	14:30～16:30	会場	麻生市民館	参加者	34人
テーマ	平成22年度の成果を報告し合い、お互いの活動を振り返り、提案団体及び参加者の情報交換の場とし、活動状況を共有する					
内 容	<p>「市民自主学級・市民自主企画事業 報告会」 ①学習報告会 市民自主学級(4団体)・市民自主企画事業(4団体)による発表 質疑応答・講師講評・意見交換 新春わいわいフェスティバル報告 ②活動報告のパネル展示 オープンスペースにて展示(平成23年3月10日～31日)</p>					

岡上分館生涯学習交流集会

日 時	2月26日(土)	13:30～15:30	会場	岡上分館	参加者	17人
テーマ	一年間の岡上分館での学びの内容を展示発表し、振り返りを行いお互いの交流を深める					
内 容	<p>発表：「家庭・地域教育学級-地域で楽しく・共・育・ちⅣ」「岡上探険隊～あじわう～」 「岡上で地域学」「初めての陶芸を岡上で」「シニア社会参加支援事業-地域デビューっ!てどうするの?～初心者講座～」 「岡上地域における農業今昔物語」 講評：意見交換会 コメンテーター 和光大学 准教授 岩本 陽児</p>					

V 2 (4) 自主グループ講師派遣

実施機関	グループ名	代表者	活動場所	学習内容	講師	指導内容
幸市民館	さいわい朗読の会	森 栄而	幸こども文化センター	日本文学を読むことに挑戦してみよう	笠原 美保	芥川龍之介「蜜柑」の朗読
中原市民館	あっぷる	平川 栄里	宮内こども文化センター	子どもの個性と表現力を引き出す	大槻 達夫	創作・演技指導
				親子体操	青木 泰代	体操指導他
	さくらんぼ	武田 明美	川崎市国際交流センター	身近にある材料を使って手軽にできる工作教室	久保田 雅人	ものづくり指導
				小杉こども文化センター	子どもの個性と表現力を引き出す	大槻 達夫
多摩市民館	まんまの会	真田 裕子	稲田助産院	子どもの心をひらく、心を支えるための「だっこ法」について	中村 尚子	だっこ法
麻生市民館	ウィンナーキッズクラブ	清水 加恵	麻生区役所保健福祉センター	双子の母親を対象に病気とその対処方法 他	木村 栄成	新型インフルエンザ 他
				乳幼児の虫菌や口の中の病気と対処方法 他	濱 健太郎	歯科医の立場で指導

V 3 表現・舞台活動支援事業

教育文化会館 表現・舞台活動支援事業		実施団体	つくコン8 実行委員会
テーマ	つくろうよコンサート vol.8		
①練習	日時	2月5日(土) 13:00～18:00、2月6日(日) 10:00～12:30 全2回	
	会場	教育文化会館 大ホール	参加者数 延べ 344人
	内容	吹奏楽の経験がありながら卒業・就職や結婚・子育て等さまざまな理由により演奏・発表の機会から遠ざかってしまっている方、あるいは、学校の部活動や地域の市民楽団等で活動しつつ、より多様な活動と出会いの場を求めている方を対象として、身近で気軽に参加できる演奏・発表および交流の機会を設ける 合同練習は前日午後および当日午前中のリハーサルのみで、参加しやすい形態とする 指揮者 八木澤 教司(作曲家)	
②発表	日時	2月6日(日) 14:00～16:00 全1回	
	会場	教育文化会館 大ホール	参加者数 685人
	内容	指揮者 八木澤 教司(作曲家) 演奏 つくろうよコンサートのための 200名の吹奏楽団 司会 川崎吹奏楽連盟 吉川 勇児 曲目 【第1部】 1 ファンファーレ「はやぶさ」 2 ペドロの奇跡の夜 3 I will ～ For Wind Ensemble ～ 4 「稜線の風」～北アルプスの印象 【第2部】 5 リトル・マーメイド・メドレー 6 ジャパニーズ・グラフィティ XV アニメヒロイン・メドレー 7 アメリカン・グラフィティXX マイケル・ジャクソン・メドレー 8 美女と野獣 アンコール ディズニー・アット・ザ・ムービー 後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 協力 川崎吹奏楽連盟 参加者数内訳 出演者 183人 スタッフ 10人 来場者 492人	

多摩市民館 表現・舞台活動支援事業 (1)		実施団体	ちっちゃい演劇フェスとか応援隊
テーマ	表現ワークショップ / クラウン★ゆかいな仲間たち		
①講座 (大人向け)	日時	7月7日(水)～8月4日(水) 18:30～20:45 全5回	
	会場	多摩市民館体育室 他	参加者数 15人
	内容	滑稽な動作や表情を使って、観客をユーモアあふれる世界に誘い込むクラウンの本質を学ぶ。 ジャグリングやパントマイムのさわりを学ぶ	

②講座 (子ども向け)	日時	8月4日(水)～5日(木) 13:00～16:45 全2回		
	会場	多摩市民館 体育室 他	参加者数	6人
	内容	滑稽な動作や表情を使って、観客をユーモアあふれる世界に誘い込むクラウンの本質を学ぶ。ジャグリングやパントマイムのさわりを学ぶ		
③講座 (応用編)	日時	11月21日(日)～12月5日(日) 10:00～16:00 全4回		
	会場	多摩市民館 体育室 他	参加者数	6人
	内容	舞台発表用のプログラムを作り上げて、練習し、ちっちゃい演劇フェスティバルで発表する		

多摩市民館 表現・舞台活動支援事業 (2)		実施団体	ちっちゃい演劇フェスとか応援隊	
テーマ	ちっちゃい演劇フェスティバル VOL.2 ～見上げる～			
②発表	日時	12月5日(日) 13:00～16:00 (開場 12:30)		
	会場	多摩市民館 大会議室	参加者数	160人
	内容	地域で演劇を中心に表現活動をしているグループの発表と交流の場として開催し、地域で気軽に演劇に親しむ機会を提供した。 参加団体:演劇しよっぷ☆南武線、演劇ほけっとたま2、語りと音楽「シリウス」、川崎 Cheers、キッズジャズダンス、クラウン☆ゆかいな仲間たち、劇団辻シアター、猫と金魚、朗読の会りんどう		

麻生市民館 表現・舞台活動支援事業		実施団体	あさおサウンド&ヴィジョン	
テーマ	あさお SOUND&VISION 2011			
①練習	日時	3月19日(土)		
	会場	麻生市民館 大ホール	参加者数	
	内容	リハーサル		
②発表	日時	3月20日(日)		
	会場	麻生市民館 大ホール	参加者数	
	内容	あさお SOUND&VISION 2011 川崎市内を中心に活動している音楽やダンスのグループのフェスティバルを開催		

*震災のため中止

V 4 学習情報提供・学習相談事業

中原市民館

対象	川崎市内在住・在勤・在学の人	開設期間	5月13日(木)～3月17日(木) 10:00～12:00 計21回	
内容	市民の学習と活動を支援や様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し公開・提供。学習についての情報照会・相談を受け付け対応する			
相談	学習相談員2人(元区PTA役員他) 交替により相談対応		件数	15

麻生市民館

対象	川崎市内在住・在勤・在学の人	開設期間	6月1日(水)～3月9日(水) 14:00～16:30 (10月～) 10:00～12:00	
内容	市民の学習と活動を支援。様々な学習や市民活動について情報を提供し、相談を受け対応する			
相談	麻生区地域教育会議、里山フォーラム in 麻生、麻生区文化協会、麻生市民館サークル連絡会、あさおライフナビゲーターのボランティアによる相談対応		件数	44

岡上分館

対象	川崎市内在住・在勤・在学の人	開設期間	年間開設	
内容	郷土資料閲覧コーナーにおける学習情報提供と日常の学習情報提供と相談			
相談	必要に応じ、旧郷土誌会会員による相談対応		件数	24